

# 法人単位資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

第一号第一様式  
(第十七条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 光林会

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	51,797,000	45,816,524	5,980,476	
	障害福祉サービス等事業収入	554,815,000	551,894,861	2,920,139	
	公益事業収入	10,304,000	9,822,076	481,924	
	経常経費寄附金収入	209,000	205,453	3,547	
	受取利息配当金収入	36,000	13,393	22,607	
	その他の収入	6,610,000	7,020,404	△410,404	
	<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>623,771,000</b>	<b>614,772,711</b>	<b>8,998,289</b>	
	支出				
	人件費支出	388,525,000	378,046,624	10,478,376	
	事業費支出	91,142,000	76,795,845	14,346,155	
	事務費支出	66,659,000	52,815,737	13,843,263	
	就労支援事業支出	50,305,000	46,209,355	4,095,645	
支払利息支出	168,000	166,522	1,478		
その他の支出	4,260,000	4,252,434	7,566		
<b>事業活動支出計(2)</b>	<b>601,059,000</b>	<b>558,286,517</b>	<b>42,772,483</b>		
<b>事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)</b>	<b>22,712,000</b>	<b>56,486,194</b>	<b>△33,774,194</b>		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等寄附金収入	3,700,000	3,698,037	1,963	
	固定資産売却収入	579,000	577,660	1,340	
	<b>施設整備等収入計(4)</b>	<b>4,279,000</b>	<b>4,275,697</b>	<b>3,303</b>	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	4,968,000	4,968,000		
	固定資産取得支出	10,435,000	10,036,073	398,927	
ファイナンス・リース債務の返済支出	725,000	724,464	536		
<b>施設整備等支出計(5)</b>	<b>16,128,000</b>	<b>15,728,537</b>	<b>399,463</b>		
<b>施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)</b>	<b>△11,849,000</b>	<b>△11,452,840</b>	<b>△396,160</b>		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	10,850,000	10,837,618	12,382	
	<b>その他の活動収入計(7)</b>	<b>10,850,000</b>	<b>10,837,618</b>	<b>12,382</b>	
	支出				
	長期貸付金支出	153,000	128,862	24,138	
積立資産支出	29,840,000	29,204,124	635,876		
<b>その他の活動支出計(8)</b>	<b>29,993,000</b>	<b>29,332,986</b>	<b>660,014</b>		
<b>その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)</b>	<b>△19,143,000</b>	<b>△18,495,368</b>	<b>△647,632</b>		
予備費支出(10)	15,299,000		12,086,000		
	△3,213,000				
<b>当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)</b>	<b>△20,366,000</b>	<b>26,537,986</b>	<b>△46,903,986</b>		
前期末支払資金残高(12)	274,684,906	274,684,906	0		
<b>当期末支払資金残高(11)+(12)</b>	<b>254,318,906</b>	<b>301,222,892</b>	<b>△46,903,986</b>		

(注) 予備費支出3,213,000円は、長期貸付金支出43,000円、車輛運搬具取得支出1,100,000円、器具及び備品取得支出510,000円雑支出1,560,000円に充当した額である。

※本様式は、勘定科目の大区分のみを記載するが、必要のないものは省略することができる。ただし追加・修正はできないものとする。